

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和7年度）2025年

9	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	11	1	土	8:30	15:30	五味ヶ谷市民の森	12名
活動名称	五味ヶ谷里山体験会					報告者：吉井 優	

1、活動目的

私達が市民管理協定で整備している五味ヶ谷市民の森は、竹林と雑木林からなり、近隣住民の散策路として親しまれています。この森を子供たちに積極的にアピールし、楽しさを通して森の大切さを理解してもらいます。自然環境でいろいろな体験をした子ども達は、協調力・忍耐力が増し、**創造力、イメージ力、問題解決能力、コミュニケーション能力が高まる**という調査結果があります。なにより、非日常的な体験により、好奇心にあふれ旺盛な知識欲とともに心の豊かな大人に育ててくれることを期待します。

2、活動内容ほか

いつものことですが、ツリーイング、ハンモック、綱渡り、竹細工、バンブーパンを実施しました。参加人員は、子供70名、大人52名となり、2022年に子ども77名参加以来、久々の70名をこえました。ツリーイングは、いつものように事前予約は定員超えとなりましたが、キャンセルもあり、キャンセル待ちの参加希望者が体験することで、定員の10名ずつ体験することになりました。ハンモックと、綱渡りも、朝から終了時まで体験希望者がいて、常に指導員が張りつくことになりました。竹細工とバンブーパンもいつものように人気で体験希望者がたえませんでした。

3、評価：

五味ヶ谷市民の森里山体験会では、2022年に子ども77名大人62名を記録して以来 2023年子供48名大人36名、昨年は、子ども57名大人46名と低迷していました。今年も太田ヶ谷で子ども6名大人51名、藤金で子ども55名大人45名でした。今年の五味ヶ谷里山体験会は、子ども70名大人56名で久々市民の森が賑やかになりました。また、ツリーイング体験参加者も、他の体験も楽しむ子供達が多く、昼食を持参し、1日楽しむ家族も多く見受けられました。

今回の里山体験会は、大成功と判断します。

4、課題

参加人数が増え、子どもたちの滞在時間も増えたようで、賑やかさが戻ってきたようです。しかし、里山クラブスタッフが減少しており、不安を感じます。里山クラブスタッフ12名に対し、外部協力スタッフは、TMCA6名、杉下地域支え合い協議会3名、一二三富の会3名と、外部スタッフが同数となりました。

当初開会式と閉会式を予定していましたが、開始時には、参加者が少なく中止しました。閉会式もあたふたしている間に流れました。次回には、受付で閉会式参加と後片付けの手伝いを呼び掛けるビラを配布する提案がありました。

今後もこのようなイベントを開催するために。会員の皆様どうかご協力お願いいたします。

<里山参加会員>

小沼、阿部、井上、柳川、風祭、小澤邦、/ 吉井、小嶋、佐野、石川、松井、 柏木

<活動写真>

